

暖フィル施工前にご一読ください。

床暖房は仕上材の下に敷設されますので、  
施工後のトラブルを避ける為にも、  
良くご理解の上、施工に取りかかって下さい。

(要点)

- ①下地よりクギ・ビス等の頭が出ていないこと。
- ②墨出しでは、暖フィルの赤線上に「実」がくる様にする。  
(1尺×6尺フローリングの場合)
- ③センサーの設置をすること。
- ④仕上材を、釘等で固定する場合は、  
“釘打ち可”の場所に打つこと。

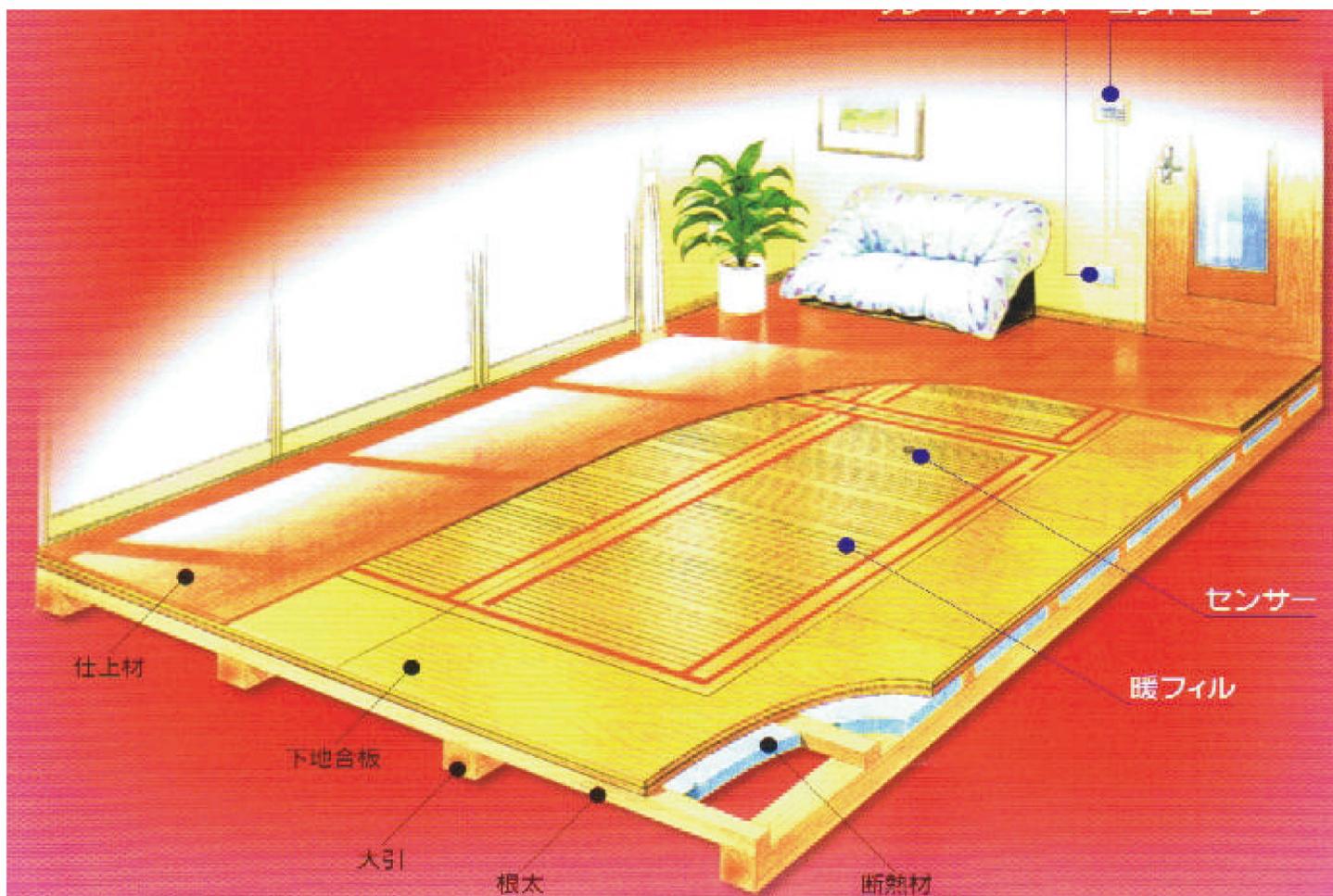
敷設位置決定後!

暖フィルは下地に  
耐熱用ウレタン接着剤で  
全面接着して下さい。

疑問に感じたことを放置したままですと、  
後々問題を起す原因になります。  
疑問点は、販売店・製造元へお問合せ下さい。

株式会社レリアブル 南営業所  
〒232-0003 横浜市南区西中町1丁目2番地  
TEL:045-231-6711 FAX:045-231-6055

千葉工場  
〒299-0212 袖ヶ浦市三箇1952-1  
TEL:0438-60-5556 FAX:0438-60-5558



②



## 重要事項

万一、下地より

クギ・ビスの頭が飛び出していた場合は  
しっかりと下地に打込むか、ねじ込んで  
下地より飛出さない様にして下さい。



③

## 『暖フィルシート』



サイズ：910mm X 910mm

厚さ 8mm

床下に断熱材が入っていない場合または、断熱材が入れられない等の場合に、断熱材として使用します。

④

敷設方法：

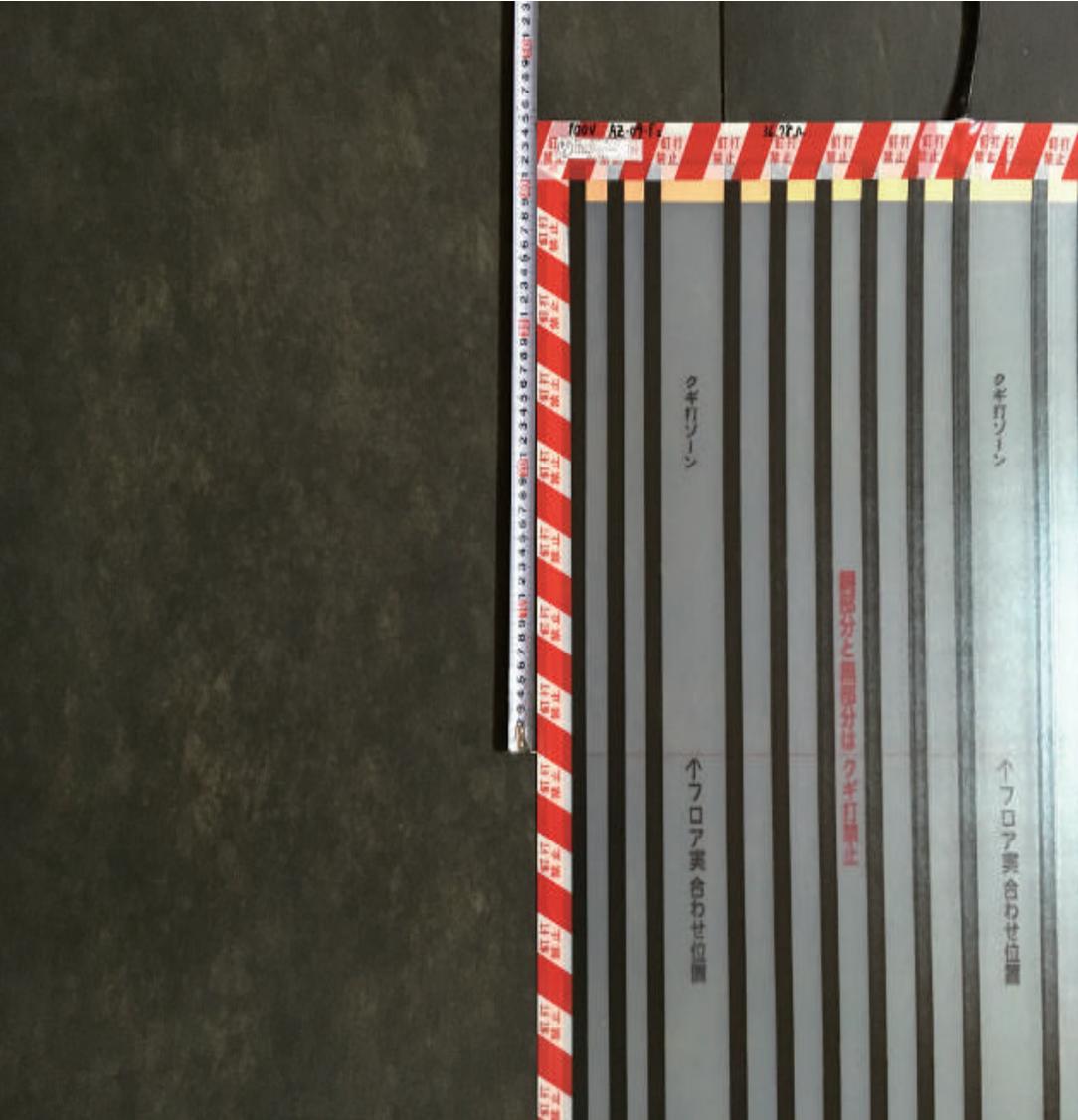


- ・まず、“暖フィルシート”を仮置きして敷設場所に合うように調整をします。

- ・下地材への固定には、床暖房対応のウレタン系接着剤を使用して下さい。



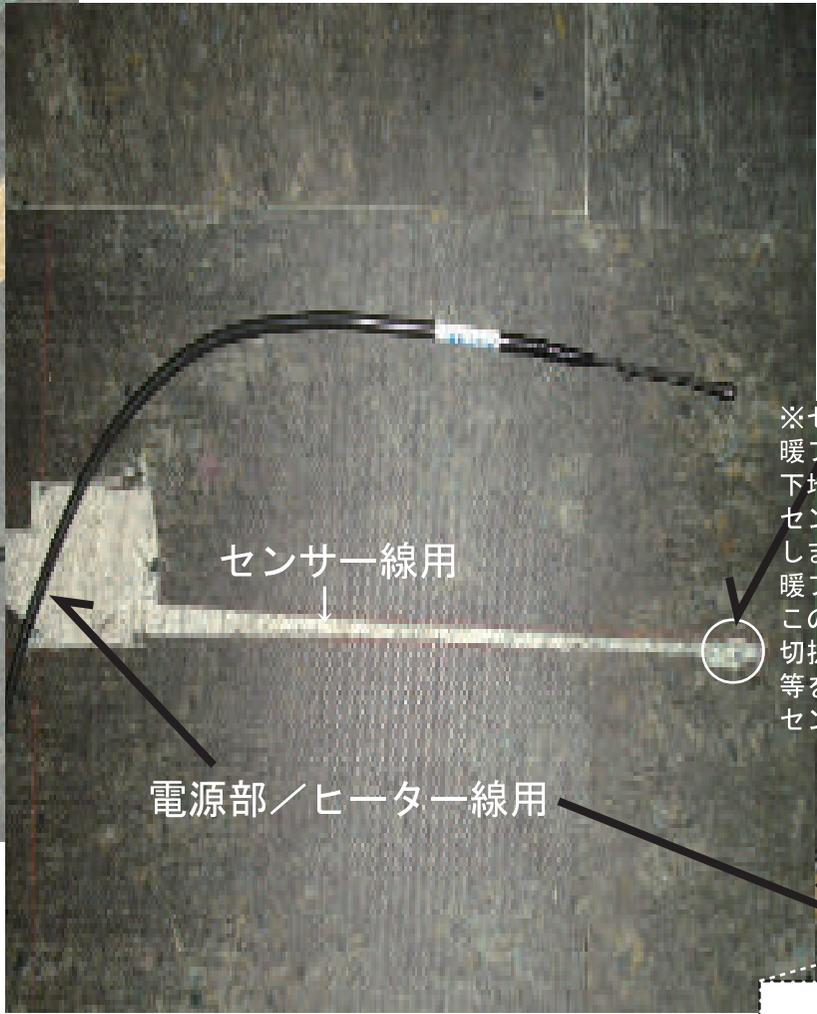
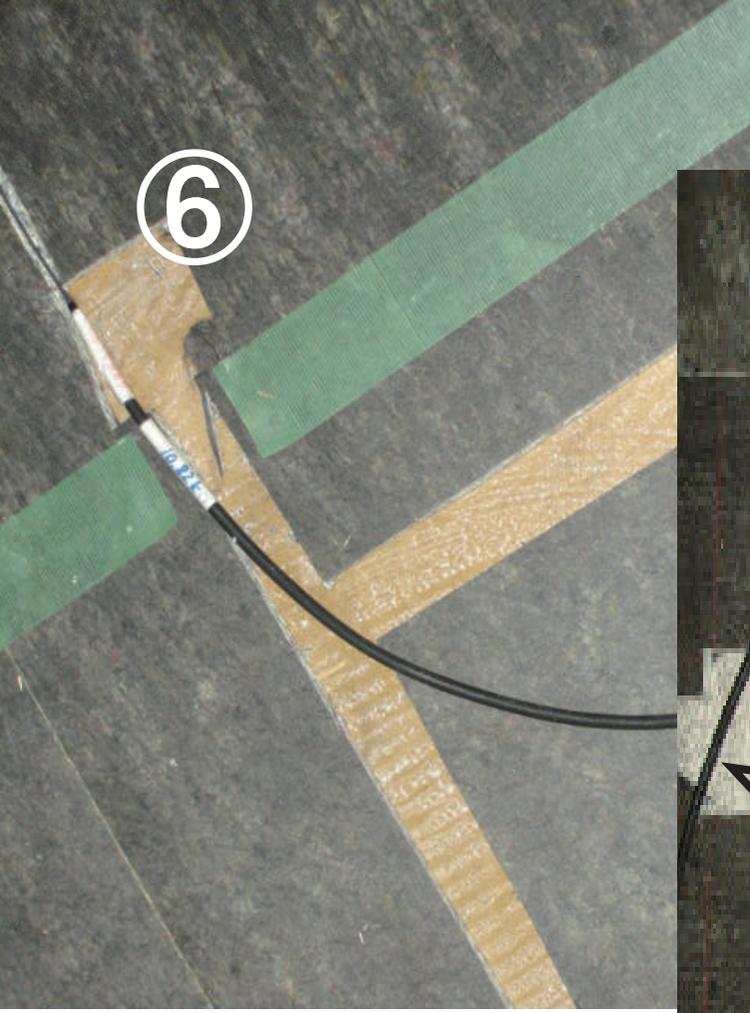
- ・接着剤を、ヘラ等で均一に塗布して、“暖フィルシート”を下地材へ全面接着して下さい。



“ 暖フィルシート ” の上に、暖フィルを仮置きして墨出しをします。  
墨出しする際、1尺幅のフローリングの場合は、暖フィルの赤線上  
に“ 実 ” が来るように墨出しをして下さい。

※養生テープ等で墨出しすると、接着範囲が明確になります。

⑥

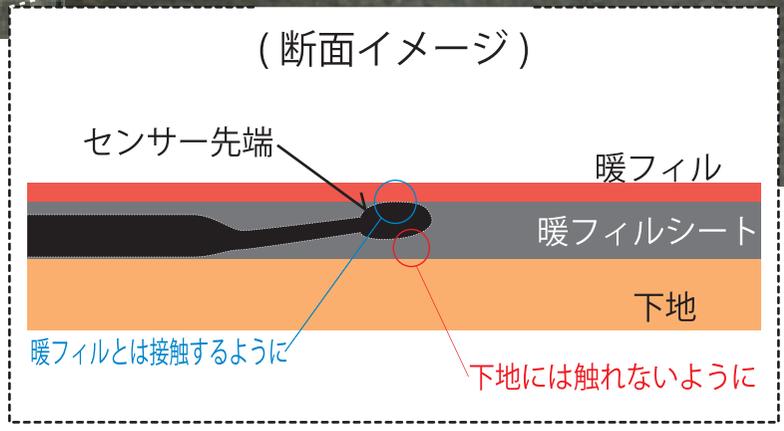


センサー線用

電源部／ヒーター線用

《重要》 センサー先端部分 《重要》

※センサー先端部分を取める部分については暖フィルシートを切抜き過ぎないようにご注意ください。下地が露出するほど切抜いてしまうと、センサー先端部分が、断熱材の無い下地へ直に触れてしまう恐れがあります。暖フィルの温度を読み取り難くなる恐れがありますのでこの部分の切抜き過ぎにはご注意ください。切抜き過ぎてしまった場合は、暖フィルシートの切かず等を、センサー先端部分と下地との間に詰めるなどして、センサー先端部分が下地に直に触れないようにして下さい。



暖フィルの電源取出部（コーキング部分）・ヒーター線と、センサー線を落とし込むための溝をカッターを使って切抜きます。

⑦

センサーを落とし込み位置へ設置します。

《重要》

- ・センサー先端部が、適切に設置されているか確認して下さい。
- ・センサー先端部が隠れてしまわない様に注意して、養生テープ等でセンサー線を止めて下さい。



⑧

“暖フィルシート”へ“暖フィル”を接着します。

《重要》

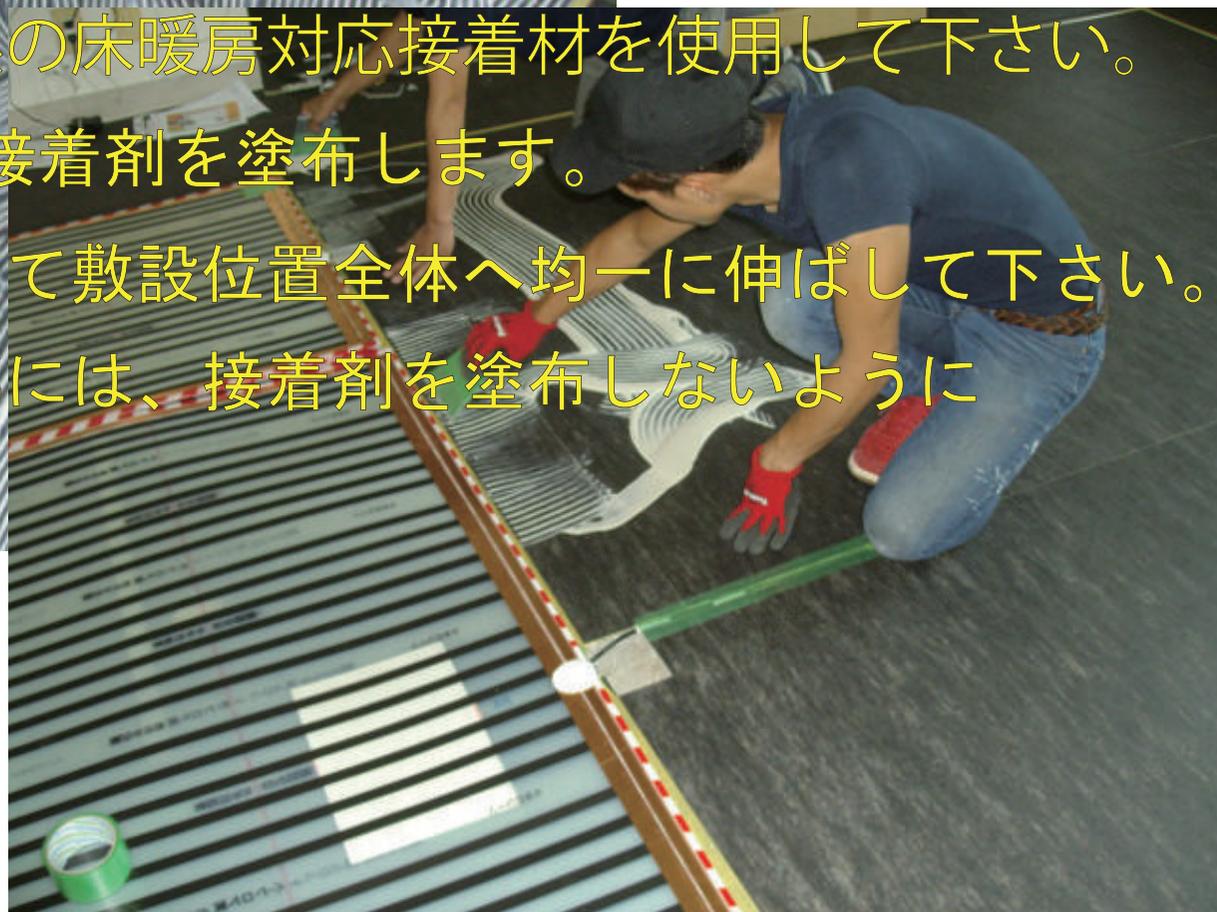
接着剤には、ウレタン系の床暖房対応接着材を使用して下さい。

“暖フィル”敷設位置に接着剤を塗布します。

接着剤は、ヘラ等を使って敷設位置全体へ均一に伸ばして下さい。

ただし、センサー先端部には、接着剤を塗布しないように

注意して下さい。



⑨



“暖フィル”を接着したあと、ヒーター線とセンサー線を  
“暖フィルシート”に切抜いておいた溝へ落とし込みます。  
線が浮き上がらない様に整理して、養生テープなどで止めておきます。

10

“暖フィル”・“暖フィルシート”を  
フローリング等で重石をして  
“暖フィル”・“暖フィルシート”をしっかりと  
抑え込み接着させてください。

※床暖房敷設場所以外のレベル調整には  
ベニヤ (t=9) を使用することも可能です。

⑪

仕上材(1尺×6尺フローリング)を

“暖フィル”と下地材に釘で止めます。

(釘打禁止部分に“実”が当たらないように注意)

仕上材が直貼りの場合は、各メーカーによってバック材が違いますので、接着材については各仕上材メーカーにお問い合わせください。